

## 随兵寒合

(ずいびょうがんや)



ボシタボシタのお祭りには子ども頃、家庭で手作りの甘酒を飲めるのが嬉しくて待ち遠しかったものです。糺から作るものですから、コタツの中にもろ蓋が入れてあったのを思い出します。今年は3年目の正直でボシタボシタの馬追いが見られる由、当日の早朝には見てみたいものです。

藤崎サンのお祭りとは9月11日が新町の連中の飾り卸し、13日はボシタボシタの飾り馬の飾り卸しと曜日は構わず決まっていたものですが、昨今は新聞で日時を確かめるとイカンとは味気ないものですね。一頃はお祭りが廃れて飾り馬の奉納する団体が2つしかない淋しい時期もありましたが、あまりの寂れように、当時の電電公社の有志や高校同窓会の奮発で今の隆盛に至っておるようです。

ボシタ祭りは庶民の祭りです。街中の血気盛んな若者が方言の下品な物言いを掛け声にしたもので、その他の理由はありません。80年近くお八幡さんの鳥居基で育った私は、死ぬまでボシタ祭りです。ドーカイドーカイは飾り馬の口取りさんが景気づけに使う言葉です。理由は兎も角、ボシタボシタと聞いて悲しむ人が居るのであれば変えることに文句は言いませんが、セイシヨコさんが命からがら戦地から引き揚げてきたことも史実です。

蔚山倭城（ウルサンウエソン）には現地の友人に2回連れて行ってもらいましたが、海辺にまで続く峻険な山の尾根の頂上に作られた、セイシヨコさんが包囲された倭城（日本の城）には秀吉を迎える為の小さな天守閣の石垣や、尾根の法面を利用した石垣が地元の方に修理されておりました。村はずれには日本語の説明看板もありました。ソウルのイーテオンに遊びに行く人はいても、秀吉の韓国出兵の為の倭城が40個近く作られた歴史はあまり知られていません。倭城は釜山にもありますが、ただの広っぱで、城の形は想像出来ません。釜山に行かれるついでに蔚山倭城の見学をおすすめします。車で2〜3時間あれば途中の漁村でとれたての活魚も格安で堪能できます。韓国蔚山で800年も前の日本人の建てた、殆ど訪れる人もなしの山城を修理されていた現地の方には感心しました。一昨日までは寝間着なしで寝ておりましたが、昨日はもう随兵寒合が始まっておりまして、令和4年9月7日記

## 老兵は死なず 唯消へ去るのみ

~ Old soldiers never die,  
they simply fade away. ~



1951年、ダグラス マッカーサー米国陸軍元帥が退任演説に引用して有名になりましたが、戦場で死ぬ事なく軍を去る事になった自身を誇るという意味合いも加えて解釈されています。もともとは英国の隊歌で、ワールドワイドにはすでに歌われていたとウィキペディアにあります。

小生は1968年に3人で始めた布団屋を皮切りに、絨毯屋、カーテン屋、藤家具屋、欧州インテリア屋と54年間転戦連戦を重ね、齢77歳となり記憶力も薄れ世代交代は自明の理、2024年をもって事業継承を図る事にしました。事業形態も楽天等を中心とした、日本全国を顧客とするネットビジネスに集約を図る計画です。無論、店舗による対面販売も続けます。あと2年先には綺麗なかたちで後継ぎは計らねばなりません。2022年9月現在、3カ所の倉庫計600坪分の在庫は、与えられた2年間で売り尽くし店仕舞セールの開催で空にして、10年前に存えておいた阿蘇山中の苦屋で隠居生活を始める予定です。

とはいえ20数年労苦を共にした継承者に、今日からホイヤレという訳にもいかず、週に何日かはお客様の前に老獪を晒す事とし、徐々に引つ込む形をとりたいと思っております。マツフジ東バイパス店、マツフジ3号線店をどうかお引き立て賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

【マツフジ継承予定カレンダー】

・2022年10月：継承開始  
(店仕舞セール開始)

・2024年10月：継承終了  
(店仕舞セール終了)

松藤貿易株式会社は名称は変わりませんが、店舗も変わりません。ただ2024年10月以降は古狸が時々店に出没します。Gさんに御用があれば死ぬまでお聞き致します。LINEやメール等で何なりとお尋ね下さい。

